



# 2050年の水産資源を 日本の食卓から考える

2018年11月10日(土)13:00 - 17:00

## 次第

13:00-13:15 趣旨説明 古谷 研 (創価大学工学研究科、日本学術会議第二部会員)

**座長:** 大竹臣哉 (福井県立大学海洋生物資源学部)

13:15-13:45 「養殖の将来: 新品種の創出と遺伝子資源の保存・保護」

吉崎悟朗 (東京海洋大学学術研究院)

13:45-14:15 「クロマグロの将来: 資源量の推移と持続可能な養殖方法のあり方」

佐藤秀一 (東京海洋大学学術研究院)

14:15-14:45 「サケの将来: 気候変動下における持続可能な保全と利用のあり方」

帰山雅秀 (北海道大学名誉教授)

14:45-14:55 休憩

**座長:** 佐藤秀一 (東京海洋大学学術研究院)

14:55-15:25 「サンマの将来: 気候変動による沖合漁業への影響と適応のあり方」

木所英昭 (水産研究・教育機構東北水研)

15:25-15:55 「アワビの将来: 資源変動機構に基づく漁業と資源管理・増殖のあり方」

河村知彦 (東京大学大気海洋研究所)

**総合討論:** パネルディスカッション「資源・流通・食卓」

15:55-16:55 司会: 萩原篤志 (長崎大学水産・環境科学総合研究科、日本学術会議連携会員)

パネリスト: 八木信行 (東京大学農学生命科学研究科、日本学術会議連携会員)、

畑江敬子 (お茶の水大学名誉教授)、

五月女圭一 (株式会社ゲイト代表取締役CEO)、

三宅 香 (イオン株式会社執行役)

16:55-17:00 閉会の挨拶 竹内俊郎 (東京海洋大学、日本学術会議連携会員)